

# ホタテガイ採苗速報

## 付着数は西湾87,838個/袋、東湾238,155個/袋

### 1 ホタテガイの付着状況

5月27日～28日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1、2(別紙)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で87,838個/袋、東湾で238,155個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾33,094個/袋、東湾123,113個/袋)よりも多くなっています。なお、採苗器の袋と中身のそれぞれの付着数は、地区によってばらつきがあることから、詳細については表1、2を参考にしてください。

稚貝の平均殻長は、西湾で0.52mmと、過去10年の平均殻長(0.81mm)よりも小さいサイズとなっていますが、東湾では0.58mmと、過去10年の平均殻長(0.64mm)とほぼ同じサイズとなっています。

### 2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は、全湾平均で134,343個/袋、ムラサキイガイの付着数は全湾平均で16,794個/袋と、いずれも過去10年の平均値(それぞれ34,544個/袋、8,891個/袋)よりも多くなっています。

### 3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

5月24日～28日に陸奥湾34定点で第9回湾内一斉ラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で759個/トン、東湾平均では1,980個/トンと、前回(それぞれ1,461個/トン、3,380個/トン)よりも減少しました。200ミクロン以上のラーバの割合は西湾平均で91.3%、東湾平均で99.4%、260ミクロン以上の割合は西湾平均で71.6%、東湾平均で92.6%でした。

ムラサキイガイとキヌマトイガイのラーバの出現数は、全湾平均でそれぞれ628個/トン、3,494個/トンと、過去10年の同時期の平均値(それぞれ170個/トン、541個/トン)よりも多い状況です。

ヒトデのラーバは全湾平均で3.0個/トンと過去10年の同時期の平均値(12.0個/トン)よりも少ない出現数でした。東湾では付着直前のブラキオラリア幼生が平均で0.1個/トンとごくわずかに見られました。

### 4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場では46,080個/袋(7日間)、川内実験漁場では82,944個/袋(7日間)、青森市水産指導センターの後潟沖では3層平均で43,648個/袋(7日間)、奥内沖では3層平均で11,680個/袋(7日間)、油川沖では3層平均で5,845個/袋(7日間)、原別沖では3層平均で8,267個/袋(7日間)でした。

### 5 海況

各ブイの5月23日～29日の平均水温は表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイと東湾ブイの15m層で平年並となっています。

### 6 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多いところでは間引きが必要です。

**湾内の早い所で6月中旬から間引きができる見込み**ですが、間引き時期の詳細な情報については、**6月10日に臨時付着稚貝調査(中層1袋)を実施し、6月13日発行予定の採苗速報第10号に情報を掲載**しますので参考にしてください。

### 7 お知らせ

湾内一斉ラーバ調査は今回で終了いたします。ご協力ありがとうございました。

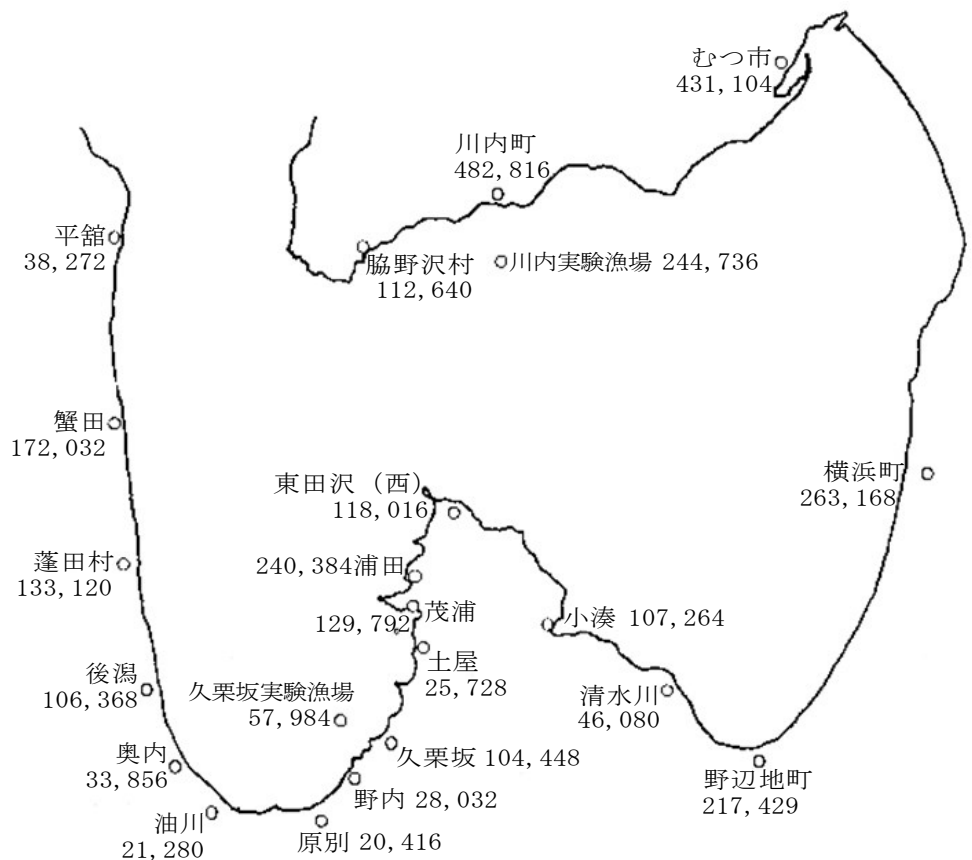


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

表3 各ブイの1週間(5/23～5/29)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	10.7～12.0	東田沢ブイ	8.5～12.3	横浜ブイ	8.3～11.4
蓬田ブイ	10.2～11.9	清水川ブイ	8.3～11.8	浜奥内ブイ	10.0～12.1
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	-	川内ブイ	10.1～11.3
青森ブイ	-	東湾ブイ	7.9～11.7	脇野沢ブイ	8.6～11.5
浦田ブイ	9.1～12.8				

-:欠測

